

関西経済レポート(10月号)

- 🔴 8月の鉱工業生産指数は前月比-4.1%と2カ月ぶりのマイナス。消費増税後、5月から生産・出荷とも減少トレンドにある。
- 🟡 9月の輸出額は前年比+7.5%と19カ月連続のプラス。輸入額は同+9.7%と2カ月ぶりのプラス。結果、貿易収支は-648億円と2カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は同+88.9%拡大した。
- 🔴 9月の景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月ぶりの小幅上昇。先行き判断DIは2カ月ぶりに悪化し、同月の消費者態度指数は2カ月連続の悪化。消費者心理の停滞感が増してきた。
- 🟡 9月の大型小売店販売は3カ月連続の前年比プラスで緩やかな改善を続けている。
- 🔴 9月の新設住宅着工戸数は前年比-14.0%と2カ月ぶりの大幅減。持家と貸家の2桁減が影響した。
- 🟡 9月の有効求人倍率は3年5カ月ぶりに前月比悪化。一方、新規求人倍率は改善しており、求人意欲は回復傾向。失業率は非労働力人口減少と完全失業者増加により、前月から小幅上昇。
- 🔴 9月の公共工事請負金額は前年比-11.3%と2カ月連続のマイナス、季節調整では4カ月ぶりの前月比プラスとなった。8月の建設工事は前年比-1.7%と3カ月ぶりのマイナスも、伸びは5カ月連続で1桁と減速傾向。
- 🟡 9月の中国工業生産は、前月比+0.9%と3カ月ぶりに加速した。

～ 関西経済のトレンド ～

	2013年			2014年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↘	/
貿易	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↘	↘
センチメント	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↘
消費	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗
住宅	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↗	↘
雇用	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘
公共工事	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↘
中国	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗

～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向①	7
中国経済動向②	8

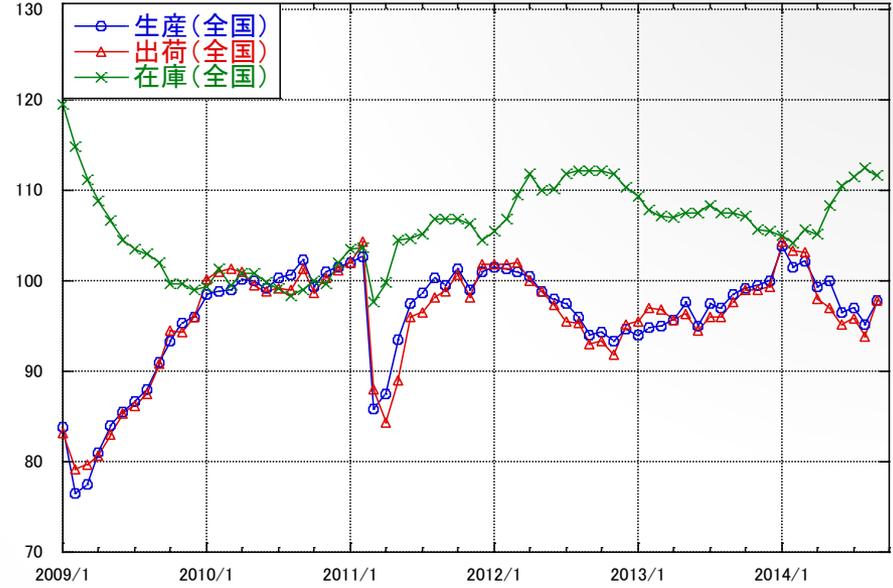
～生産～

鉱工業指数の推移(近畿・2014年8月まで), 2010年=100



(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

鉱工業指数の推移(全国・2014年9月まで), 2010年=100

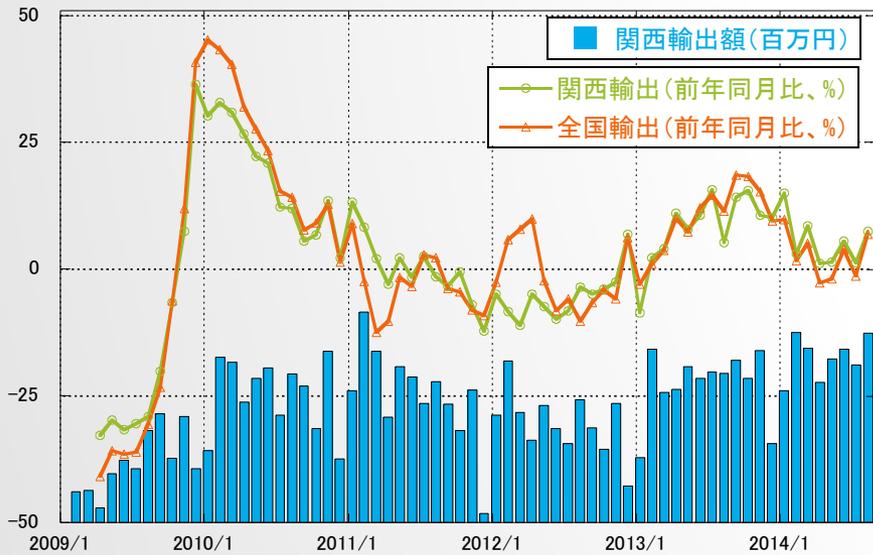


(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

- 関西における8月の鉱工業指数(確報値：季節調整済)は、生産は103.2で前月比-4.1%と2カ月ぶりの下落、出荷は99.2で同-2.4%と2カ月連続の下落。在庫は119.8で同-0.5%と5カ月ぶりの下落であった。
- 業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械、(同-16.4%)、金属製品(同-10.6%)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同-5.7%)等が下落した。一方、化学(除. 医薬品)(同+7.1%)、電子部品・デバイス(同+2.4%)、鉄鋼(同+2.0%)等が上昇した。
- 消費増税後、5月から生産・出荷とも減少トレンド。全国では生産トレンドの低下が続いているが、7-9月期のマイナス幅は前期より縮小した。
- 全国における9月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は97.8となり、前月比+2.7%、出荷は97.9で同+4.3%といずれも2カ月ぶりの上昇。在庫は111.7で同-0.8%と5カ月ぶりの下落となった。
- 業種別にみると、輸送機械(同+4.7%)、電子部品・デバイス(同+5.8%)、電気機械(同+5.4%)等を中心に幅広く増産となった。一方、化学(除. 医薬品)(同-0.1%)は小幅減産となった。
- 7-9月期の生産は前期比-2.0%と2期連続の低下となったが、マイナス幅は前期(同-3.8%)から縮小。製造工業生産予測調査(10月調査)では、10月(前月比-0.1%)、11月(同+1.0%)となっており、今後の生産動向は緩やかに増産に向かう見込み。

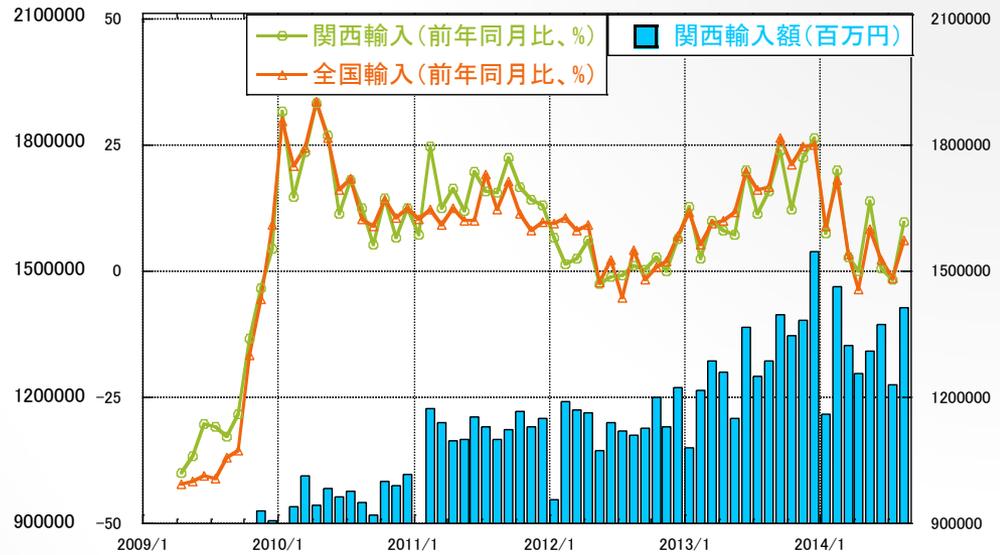
～輸出入～

輸出動向 (右: 輸出額、左: 前年同月比) (2014年9月まで)



(出所)大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

輸入動向(右:輸出額、左:前年同月比)(2014年9月まで)



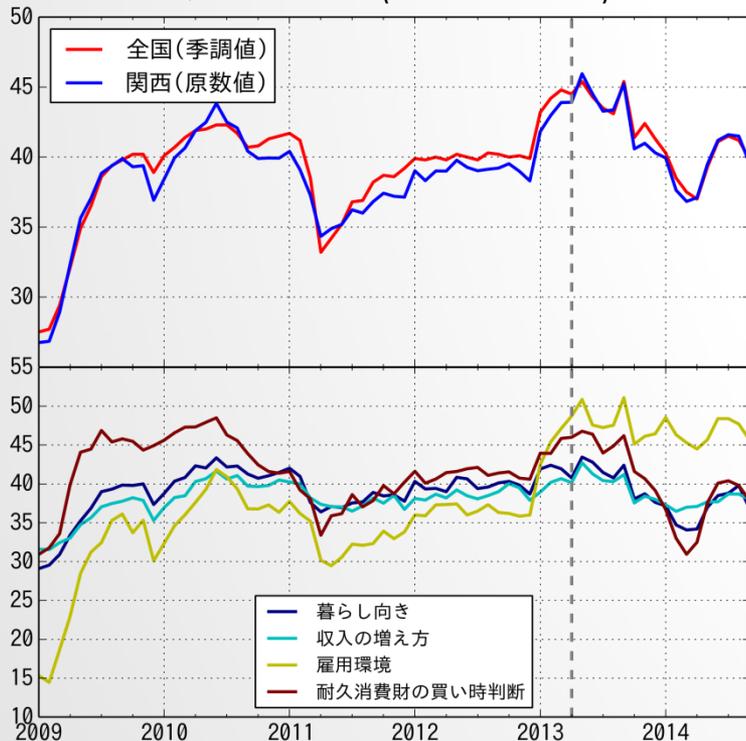
(出所)財務省「貿易統計」

- 関西の9月の輸出額(速報値)は1兆3,491億円、前年比+7.5%と19カ月連続の増加。伸びは前月(同+1.3%)から上昇したものの、7カ月連続で1桁にとどまっている。
- 輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、科学光学機器(単月過去最高額)であった。
- 全国の9月の輸出額(確定値)は6兆3,825億円、前年比+6.9%と2カ月ぶりの増加。財別に見ると、自動車、鉄鋼、船舶等の輸出が増加した。

- 関西の9月の輸入額(速報値)は1兆4,139億円と前年比+9.7%と2カ月ぶりのプラス。
- 原油及び粗油(単月過去最高額)、天然ガス及び製造ガス(単月過去最高額)等が増加した。
- 全国の9月の輸入額(速報値)は7兆3,431億円、前年比+6.2%と2カ月ぶりのプラス。財別に見れば、液化天然ガス、通信機、肉類等の輸入が増加した。
- 結果、関西の9月の貿易収支は-648億円と2カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は前年比+88.9%と305億円増加した。全国の9月の貿易収支(確速値)は-9,606億円と27カ月連続の赤字となった(同+1.8%)。

～消費者センチメント～

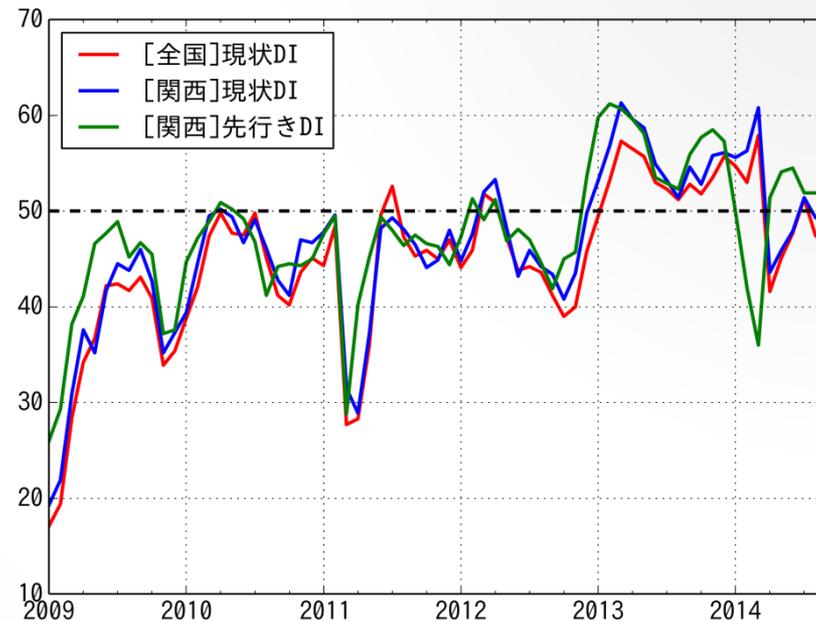
消費者態度指数(2014年9月まで)



(出所)内閣府「消費動向調査」(平成26年10月10日公表)

- 関西の9月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.9ポイントの39.6と、2カ月連続の悪化。消費者心理の停滞感が増してきた。
- 同指数の構成項目をみると、4つの指標全てが前月からマイナス。「暮らし向き」の落ち込みが最も大きく、同-2.9ポイントと6カ月ぶりのマイナス。「雇用環境」は同-2.0ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.9ポイントといずれも2カ月連続のマイナスで、悪化幅も拡大している。「収入の増え方」も同-0.7ポイントと7カ月ぶりにマイナスに転じた。
- なお全国の9月の消費者態度指数(季節調整値)は39.9となり、同-1.3ポイントと2カ月連続の悪化。

景気ウォッチャー調査(2014年9月まで)

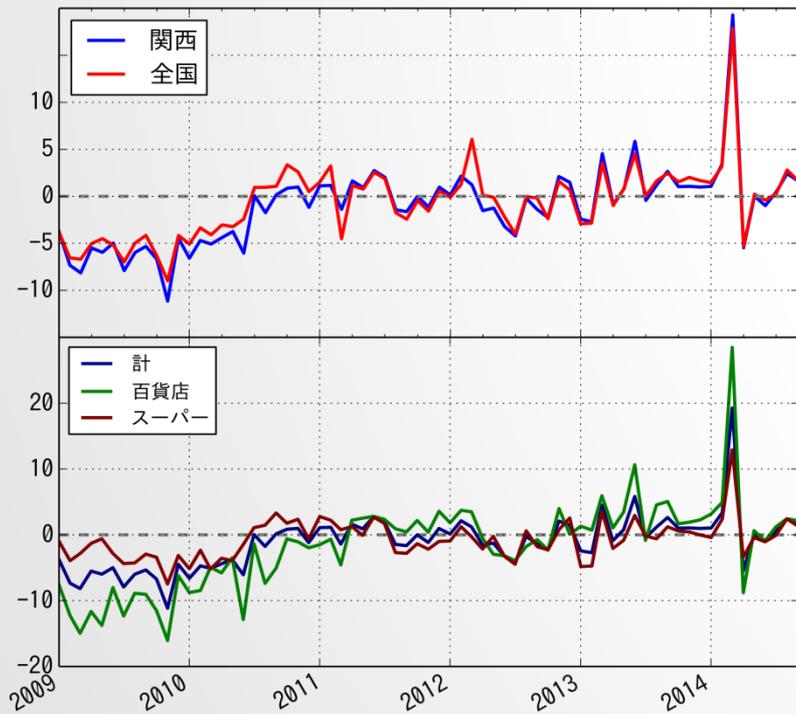


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」(平成26年10月7日公表)

- 関西の9月の現状判断DIは前月比+0.1ポイント小幅上昇し49.4となった。2カ月ぶりのプラス。消費増税の影響が見られるものの、外国人観光客の増加が上昇に寄与したようである。
- 全国は同横ばいの47.4となった。
- 先行き判断DIは、関西では同-0.4ポイント低下し、51.5となった。2カ月ぶりの悪化。全国では48.7となり、同-1.7ポイント低下した。4カ月連続の悪化。
- 円安に伴う輸入物価の上昇や、賃金の増加が緩やかであるため、節約志向が今後高まる可能性がある。センチメントの改善は見込みづらい。

～個人消費・住宅～

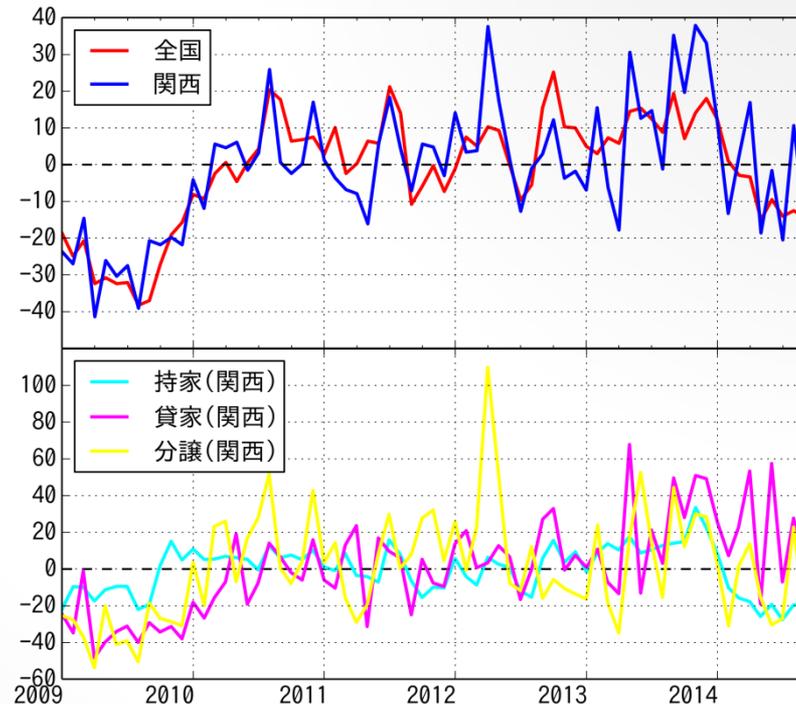
大型小売店販売額(前年同月比:%、2014年9月まで)



(注)福井県を含む。
(出所)経済産業省「商業動態統計」(平成26年10月28日公表)

- 関西の9月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+1.6%と3カ月連続のプラス。
- 百貨店も同+2.1%と3カ月連続のプラス。
- スーパーも同+1.3%と2カ月連続のプラス。
- 全国でも、9月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+1.7%と3カ月連続のプラスとなっている。
- 関西、全国ともに消費は増税後緩やかながら改善が続いている。

新設住宅着工(前年同月比:%、2014年9月まで)

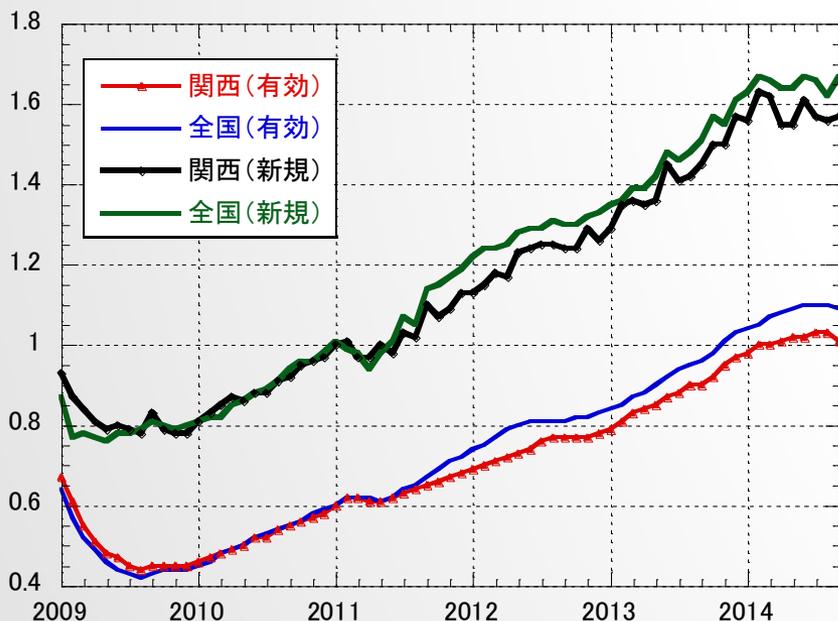


(出所)国土交通省「住宅着工統計」(平成26年10月31日公表)

- 関西の9月の新設住宅着工戸数は11,707戸。前年同月比-14.0%と2カ月ぶりの大幅減となった。
- 全国では同-14.3%と7カ月連続で減少している。
- 関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-19.0%と8カ月連続の2桁減、分譲が同-26.9%と2カ月ぶりの2桁減である一方で、貸家は同+4.2%と2カ月連続のプラスとなったが、伸びは前月(+27.7%)から大幅に減速している。
- なお、9月の関西マンション契約率は79.4%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を36カ月連続(原数値は8カ月連続)で上回り、販売は好調を維持。

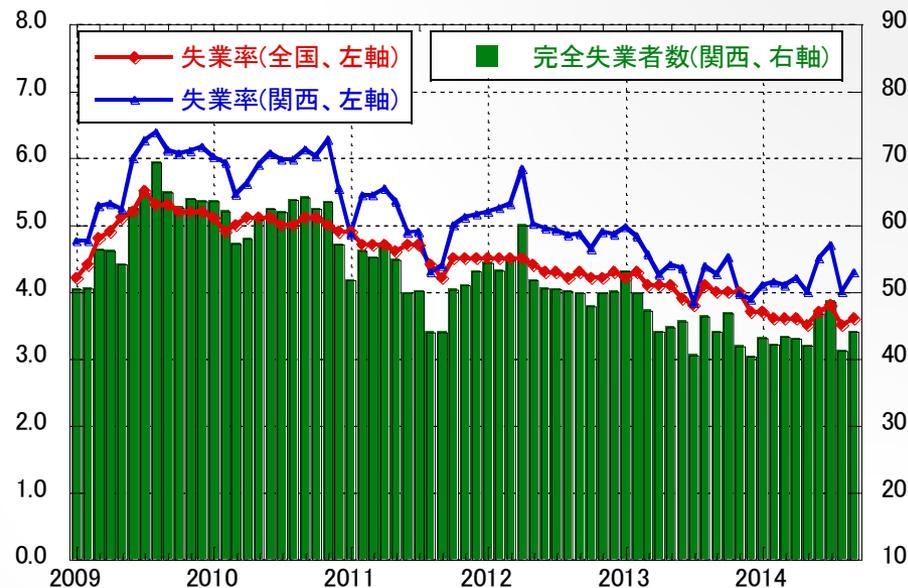
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2014年9月まで）



（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況」（2014年10月31日公表）

完全失業率の推移（季節調整値：%、万人、2014年9月まで）



（出所）総務省「労働力調査」（2014年10月31日公表）

関西2府4県有効求人倍率(2014年9月)

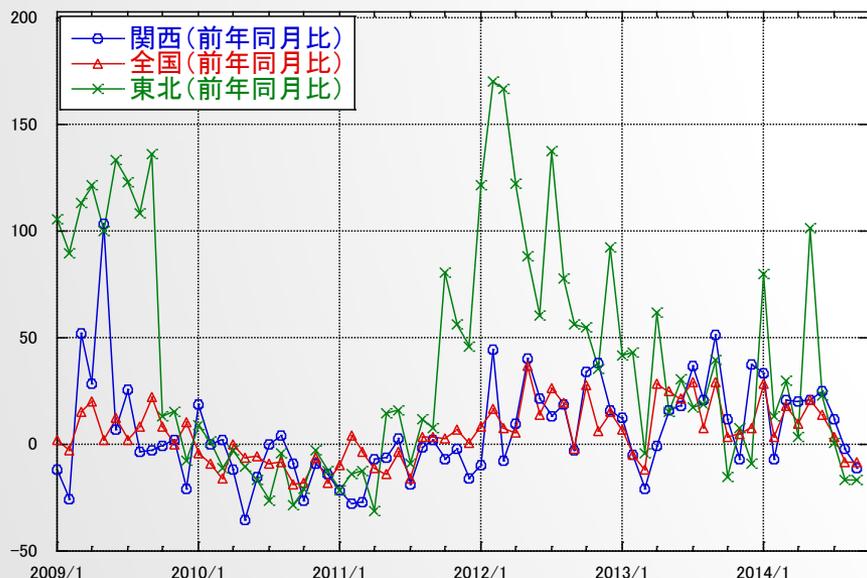
9月	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
受理地別	1.09	1.01	0.93	1.05	1.09	0.90	0.90	0.99
就業地別	1.09	1.00	1.10	1.08	0.97	0.97	1.02	1.07

- 9月の関西の有効求人倍率は、1.01倍と前月比-0.02ポイント下落し、2011年4月以来3年5カ月ぶりの悪化となった。全国は1.09倍で前月比-0.01ポイント下落し、2011年5月以来3年4カ月ぶりの悪化。
- 9月の関西の新規求人倍率は、1.57倍と前月比+0.01ポイント上昇し、3カ月ぶりの改善。全国は1.67倍と同+0.05ポイントでこちらも3カ月ぶりの改善。医療・福祉や飲食関連で新規求人数が伸び、求人意欲は回復傾向。
- 関西の有効求人倍率を府県別にみると、受理地別では大阪府、和歌山県、滋賀県で下落。就業地別で大阪府で1倍台を下回り、滋賀県で0.04ポイント下落した。

- 9月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR推計)は4.1%となり、前月(4.0%)から+0.1ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりの悪化となった。非労働力人口の減少と、完全失業者の増加が失業率の上昇要因とみられる。
- 結果、関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は44.0万人。前月(41.3万人)から2.7万人増加した。
- 全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%となり、前月(3.5%)から+0.1ポイント上昇。女性で自発的な離職(自己都合)が増加しており、職探しが増えたことが失業率を押し上げた。
- 全国の就業率(原数値ベース)をみると、73.2%と前月(72.8%)と比べて上昇しており、引き続き好調を維持。

～公共投資～

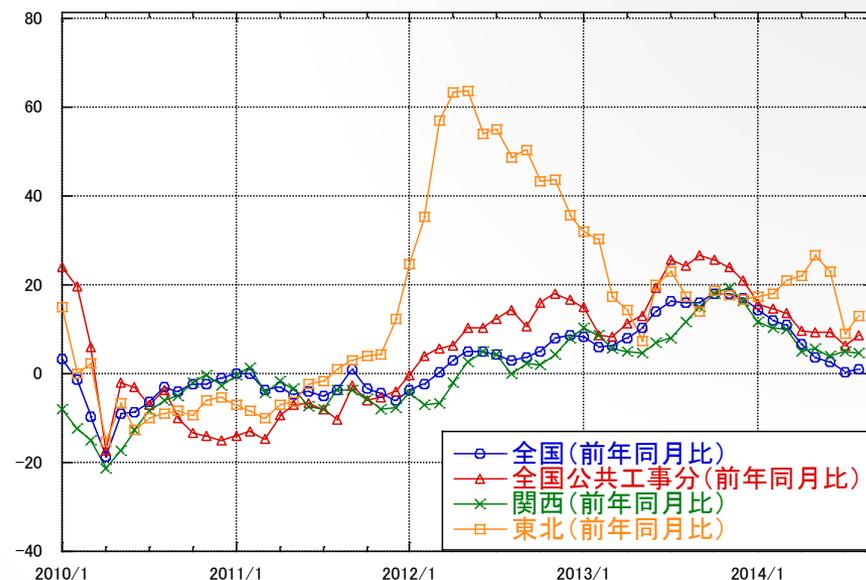
公共工事請負額(前年同月比:%、2014年9月まで)



(注)福井県を含む。
(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

- 9月関西の公共工事請負金額は1,485億円と前年同月比-11.3%と2カ月連続のマイナス。
- 全国は1兆3,984億円と同-8.2%、東北は2,314億円と同-16.5%といずれも2カ月連続のマイナス。
- 全国的に、公共工事受注の伸びは減速が続いている。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、関西、全国共に4カ月ぶりの前月比プラス(関西：同+27.2%、全国：同+24.0%)。結果、関西の7-9月期は前期比-4.1%と2期ぶりのマイナス。全国は同-14.2%と3期ぶりのマイナスとなった。

建設工事(前年同月比:%、2014年8月まで)

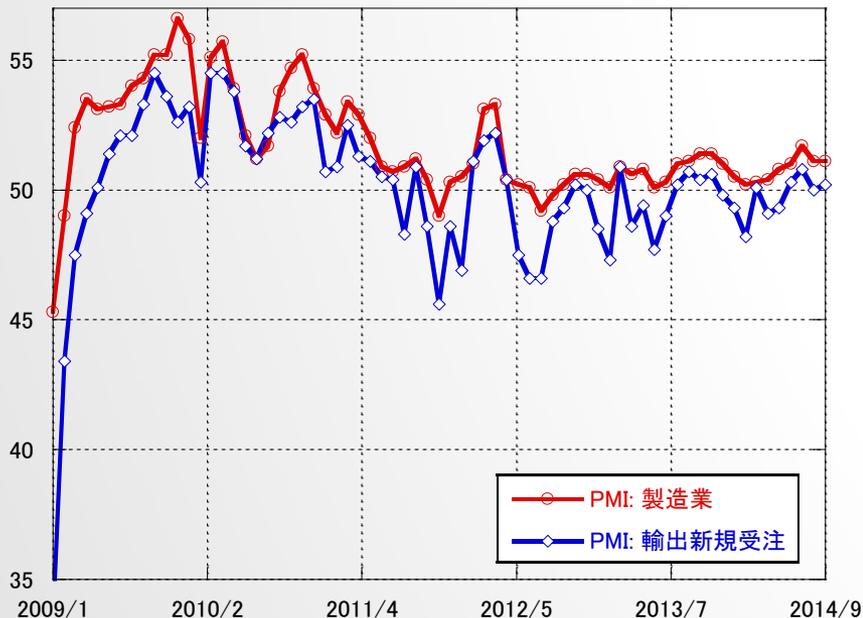


(出所)国土交通省「建設総合統計」

- 関西8月の建設工事は5,061億円。前年同月比+4.8%と28カ月連続のプラスも、伸びは5カ月連続で1桁となった。
- 東北は5,170億円、同+13.0%と37カ月連続のプラス。
- 全国は4兆309億円となり同+1.2%と30カ月連続のプラス、全国の公共工事は1兆7,037億円と同+8.7%と31カ月連続のプラス。いずれも5カ月連続で1桁の伸びにとどまった。
- 全国的に建設工事の伸びは停滞している。

～中国経済動向①～

中国製造業購買担当者景況指数 (2014年9月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

- 9月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月比横ばいの51.1となった。
- うち、生産指数は53.6と同+0.4ポイント上昇。2カ月ぶりのプラス。新規受注指数は52.2となり、同-0.3ポイント低下し、2カ月連続の悪化。輸出新規受注は同+0.2ポイント小幅上昇し50.2となった。4カ月連続で50を超えている。一方、雇用指数は48.2となり、前月比同横ばい。2012年6月以来、27カ月連続で50を下回っている。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年9月まで:%)

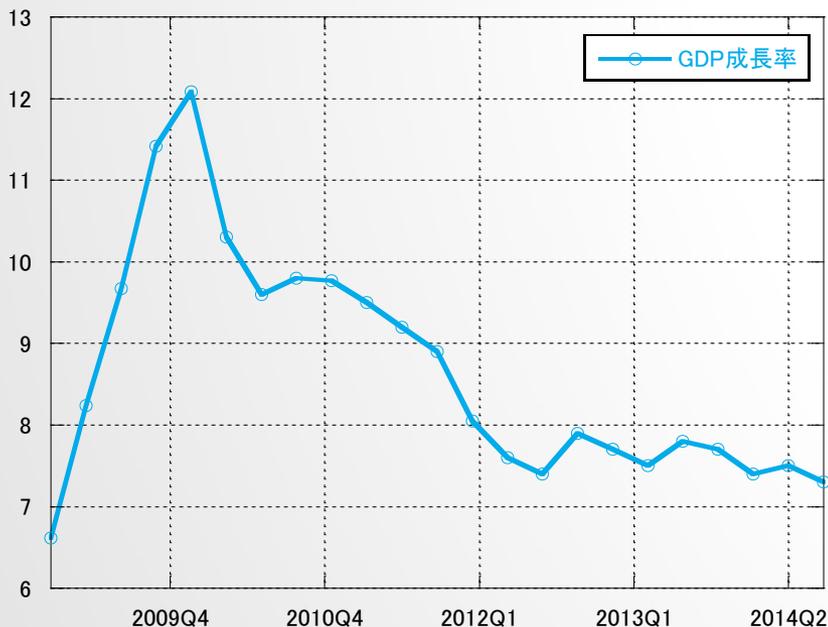


(出所) 中国税関; CEICデータベース(APIR計算)

- 9月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+15.1%増加し、6カ月連続のプラス。伸びは前月(同+9.4%)から再び加速した。輸入は同+7.2%(速報値)となり、3カ月ぶりのプラスとなった。
- うち日本への輸出額は同-5.3%となり、2カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同+4.5%となり、前月(-5.3%)からプラスに転じた。
- 円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+2.2%となり、7カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+12.8%となり、前月(-0.4%)から再びプラスの伸びとなった。

～中国経済動向②～

GDP成長率(前年同期比) (2014年7-9月期まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

- 2014年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.3%となり、前期の同+7.5%と比べて幾分減速した。10期連続で成長率は8%を下回っている。
- 業種別にみると（7-9月期ベース）、第1次産業の成長率は同+4.2%、第2次産業は同+7.4%、第3次産業は同+7.9%となった。

工業生産動向(2014年9月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

- 9月の工業生産は、前月比+0.9%と3カ月ぶりの加速(8月：同+0.2)となった。前年同月比は+8.0%と前月(+6.9%)より加速した。
- 産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+16.6%)、金属製品製造業(同+12.7%)、有色金属の製錬・圧延加工業(同+11.9%)、自動車製造業(同+10.7%)が高い伸びを示した。一方で、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+5.5%)、繊維工業(同+5.3%)、電力・熱力生産・供給業(同+1.6%)は比較的低調な伸びにとどまった。

※関西経済のトレンド 評価基準について

- センチメント：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- 生産：近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- 雇用：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- 消費：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- 住宅：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- 公共工事：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- 貿易：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。